

第2章

この章でおこなうこと

WindowsMe/98SE を搭載したパソコンを使って、インターネットに接続するための設定をおこないます。

WindowsMe/98SE 編

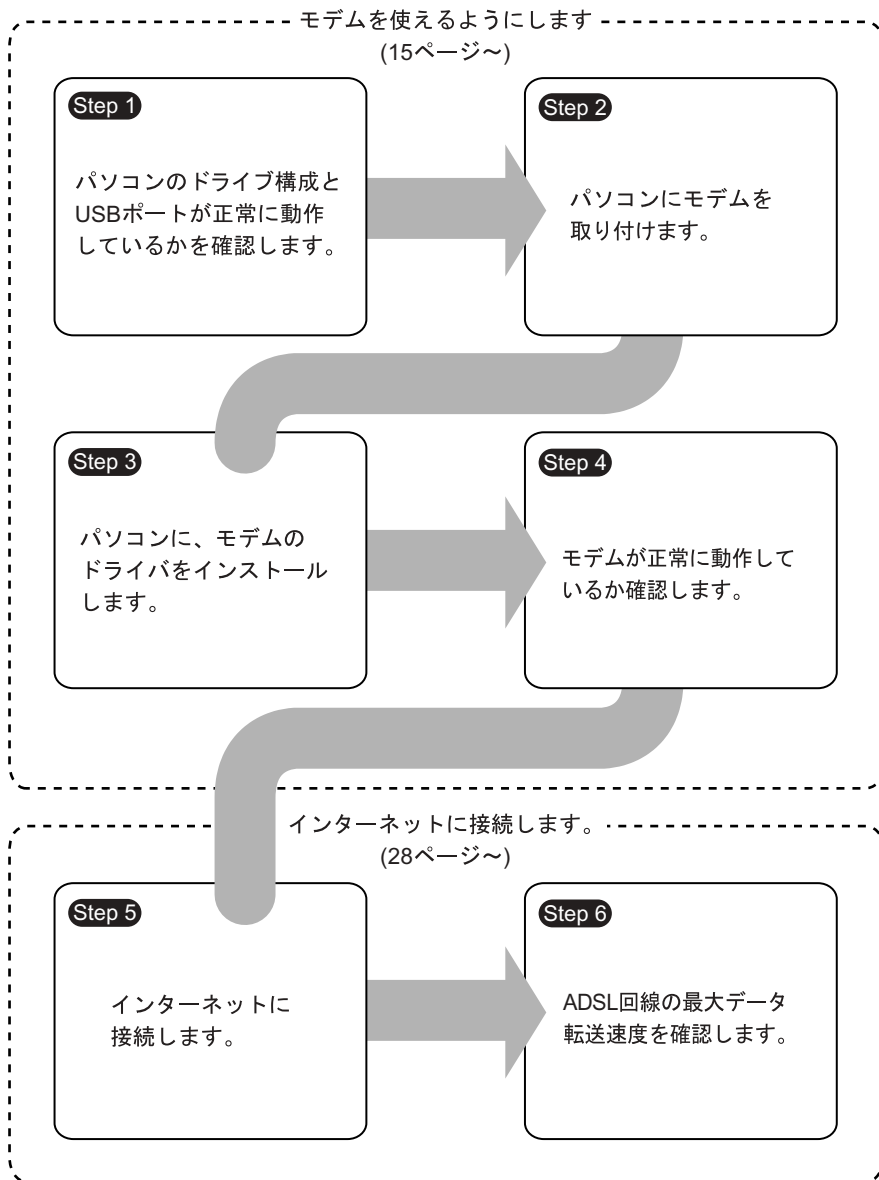
2.1 モデムを使えるようにします

- Step 1** モデムを取り付ける前に 15 ページへ
- Step 2** モデムを取り付ける 17 ページへ
- Step 3** モデムのドライバをインストールする 21 ページへ
- Step 4** モデムが正常に動作しているか確認する 26 ページへ

2.2 インターネットに接続します

- Step 5** インターネットに接続する 28 ページへ
- Step 6** 最大データ転送速度を確認する 29 ページへ

ADSL回線を使用して、パソコンからインターネットに接続する手順は、以下の通りです。



2.1 モデムを使えるようにします


ADSL 回線を使用してインターネットに接続するために、モデムを取り付けます。

Step 1 モデムを取り付ける前に

ドライブ構成の確認

モデムを取り付けるパソコンのドライブ構成を、次の手順で確認してください。
WindowsMe を例に説明します。

- 1 パソコンの電源スイッチを ON にして、パソコンを起動します。
- 2 デスクトップ画面の [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックします。

- 3  **1 選択** [表示]メニューから[詳細]を選択します。
2 確認 表示されるドライブ名を確認します。

ここで表示された各ドライブ名は、以降の手順で必要になりますので、下の表にメモしておいてください。

お使いのパソコンのドライブ構成は？

ドライブの種類	アイコン	ドライブ名(例)
3.5 インチフロッピーディスク		(A:)
ハードディスク(ローカルディスク)		(C:)
CD-ROM		(D:)

☑メモ NEC 製 PC98-NX シリーズをお使いの方へ

「CyberTrio-NX」をアドバンスモードに設定してください。

「CyberTrio-NX」がインストールされている機種では、「CyberTrio-NX」をアドバンスモード以外のモードで使用していると、無線LANアダプタのドライバが正常にインストールできないことがあります。「CyberTrio-NX」がインストールされているパソコンでは、タスクバーに「CyberTrio-NX」のインジケータが表示されます。

CyberTrio-NX とは...パソコンを使う人ごとに、Windows の動作範囲やアクセスできるフォルダを限定するための機能です。詳しくは、パソコン本体のマニュアルを参照してください。

USB ポートの確認

モデムを取り付けるパソコンの USB ポートが正常に動作していることを、次の手順で確認してください。

- 1 デスクトップ画面の [マイコンピュータ] アイコンをマウスのカーソルを合わせ、右ボタンをクリックします。
[プロパティ] をクリックします。
- 2 [デバイスマネージャ] タブをクリックします。
- 3 [ユニバーサルシリアルバスコントローラ] の「+」をクリックします。
- 4



1 確認

[ユニバーサルシリアルバスコントローラ] 中に表示されるアイコンに × がついていないことを確認します。

☑メモ 表示されるユニバーサルシリアルバスコントローラの名称は、パソコンの機種によって異なります。

× がついていなければ、USB ポートは正常に動作しています。

USB ポートが正常に動作していない場合

×がついているときは、次の手順をおこなって、USB ポートの設定を変更してください。次の手順をおこなっても×が表示される場合は、お使いのパソコンメーカーにお問い合わせください。

- 1 ×がついているアイコンをクリックし、[プロパティ]をクリックします。
- 2 [デバイスの使用]の「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」のチェックボックスをクリックして、チェックマークを消します。
- 3 [OK]をクリックします。

△注意 「ユニバーサルバスコントローラ」が表示されていないときは、BIOS で USB ポートが無効に設定されています。設定を変更し、有効にしてください。設定方法は、お使いのパソコンメーカーにお問い合わせください。

Step 2 モデムを取り付ける

モデムは、パソコンの電源を ON にした状態で抜き差しができます。

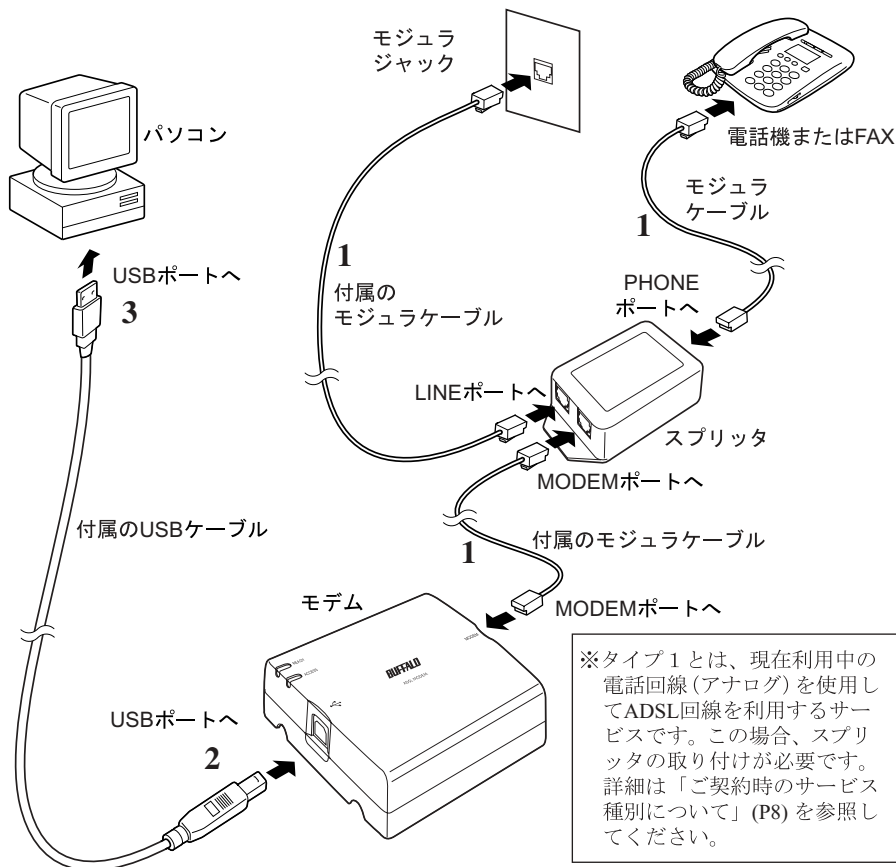
△注意 取り付け時の注意

- ・ パソコンおよび周辺機器の取扱いは、それぞれ付属のマニュアルに記載されている方法でおこなってください。
- ・ 各種コネクタのチリ、ホコリなどは取り除いてください。
- ・ モデムおよび付属の USB ケーブルのコネクタ部分には手を触れないでください。
- ・ モデムをパソコンに取り付けるときコネクタの向きに注意してください。無理に押し込むとコネクタが破損する恐れがあります。
- ・ モデムは、パソコンの USB ポートに直接接続して使用することを推奨します。

パソコンへの取り付け

モデムをパソコンに取り付けるときは、次の方法に従ってください。

《タイプ1 のサービス種別の場合》



△注意 スプリッタは、保安器と直結で接続してください。保安器とスプリッタの間に分配器等が入ると、電話機などにノイズが入ることがあります。ホームテレホン/セキュリティシステム/LCR を利用している場合は、メーカーまたは設置業者にお問い合わせください。ガス検知器を利用している場合は、NTT 地域会社やガス会社にお問い合わせください。

通常、各家庭などの壁にあるモジュラジャックは、屋外に設置されている保安器に接続されています。設置業者に依頼したり、アナログ工事担任者の免許を持っていれば、保安器から分岐して複数のモジュラジャックを宅内へ設置することが可能です。このように分岐した場合、壁のモジュラジャックにスプリッタを直接接続しても、他の壁のモジュラジャックへノイズが流れてしまいますので、ホームテレホン / セキュリティシステム / LCR / ガス検知器などのサービスを受けられなくなる可能性があります。

❏メモ 別売の USB ケーブルを使用する場合は、ケーブル長が 5m 以内の USB ケーブル(USB 規格 Revision1.1) を使用してください。

1 壁のモジュラジャックからモジュラコードをはずし、スプリッタの PHONE ポートに接続します。

2 付属のモジュラケーブル 2 本を使って、次のように接続します。

- ・スプリッタの LINE ポート - モジュラジャック
- ・スプリッタの MODEM ポート - モデムの MODEM ポート

❏メモ 設置場所までの距離に応じて、適切な長さのモジュラケーブルを使い分けて接続してください。別売のモジュラケーブルを接続する場合は、必ず 2 線式のものを使ってください。

3 パソコンの電源を入れ、起動完了後に、付属の USB ケーブルの正方形のコネクタ (B タイプ) をモデムの USB ポートに接続します。

4 付属の USB ケーブルの長方形のコネクタ (A タイプ) をパソコンの USB ポートに接続します。

- ❏メモ
- ・モデムの裏面には磁石がついているため、スチール製デスクの側面など金属部分にくっつけて設置することができます。
 - ・モジュラケーブルが長くて邪魔な場合は、スプリッタの裏面に巻きつけると便利です。

❏メモ モデムの背面にはネジ穴があり、壁にかけて設置することができます。縦方向 / 横方向どちらでも設置できます。

《モデムを横向きにして壁にかける場合》

壁に84mm間隔で添付のネジを取りつけ、この2つのネジ穴を引っかけて設置します。

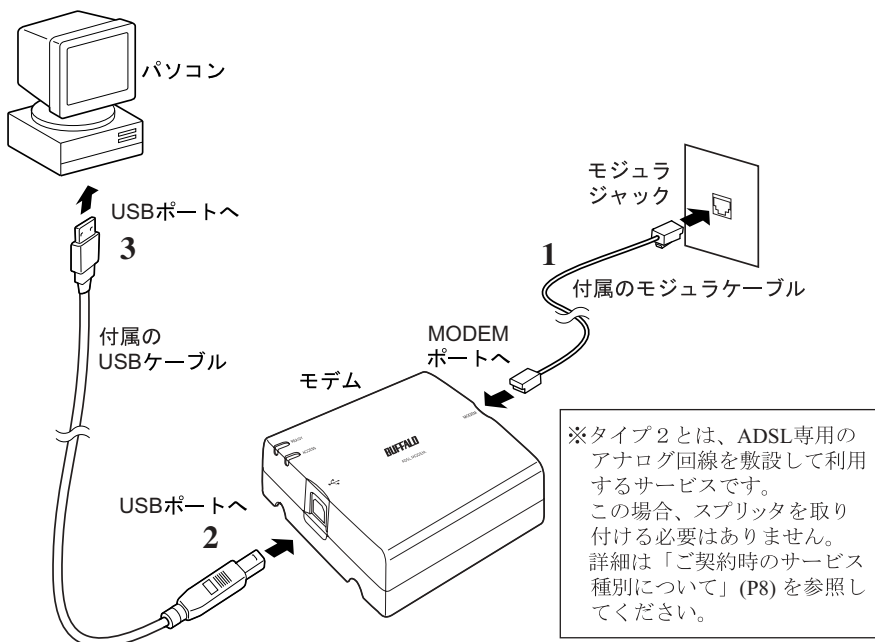


《モデムを縦向きにして壁にかける場合》

壁に72mm間隔で添付のネジを取りつけ、この2つのネジ穴を引っかけて設置します。



〈タイプ2 のサービス種別の場合〉



モ 別売の USB ケーブルを使用する場合は、ケーブル長が 5m 以内の USB ケーブル(USB 規格 Revision1.1) を使用してください。

1 付属のモジュラケーブルを使って、壁のモジュラジャックとモデムのMODEMポートを接続します。

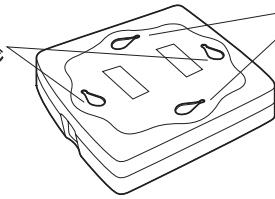
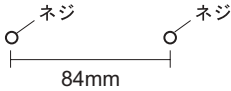
モ 本製品添付の2本のモジュラケーブルのうち、できるだけ短い方をお使いください。

2 パソコンの電源を入れ、起動完了後に、付属の USB ケーブルの正方形のコネクタ (B タイプ) をモデムの USB ポートに接続します。

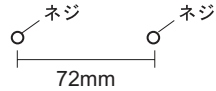
3 付属の USB ケーブルの長方形のコネクタ (A タイプ) をパソコンの USB ポートに接続します。

- ☛ **メモ** モデムの背面にはネジ穴があり、壁にかけて設置することができます。縦方向 / 横方向どちらでも設置できます。

《モデムを横向きにして壁にかける場合》
壁に84mm間隔で添付のネジを取りつけ、この2つのネジ穴を引っかけて設置します。



《モデムを縦向きにして壁にかける場合》
壁に72mm間隔で添付のネジを取りつけ、この2つのネジ穴を引っかけて設置します。



Step 3 モデムのドライバをインストールする

- ⚠ **注意** ドライバのインストールをおこなう前に、ドライブ構成の確認 (P15) をおこなってください。
また、パソコンの USB ポートが正しく動作していることを確認してください。(P16)

モデムのドライバのインストール手順は、WindowsMe/98SE のそれぞれの場合で異なります。下記のうち、あてはまるページを参照して、インストールをおこなってください。
WindowsMe をお使いの方：

「《WindowsMe の場合》」(下記) を参照してください。

Windows98SE をお使いの方：

「《Windows98SE の場合》」(P23) を参照してください。

- ☛ **メモ** パソコンの電源が OFF になっているときは、電源を ON にしてください。

《WindowsMe の場合》

- 1 モデムが認識され、[新しいハードウェアの追加ウィザード]画面が表示されます。

- ⚠ **注意** 画面が表示されないときは、「第4章 困ったときは」の「モデムのインストール画面が表示されない」(P48) を参照してください。

- 2 「IGM-U1500C ドライバ CD」を CD-ROM ドライブに挿入します。

次ページへ続く

3

1 確認 モデムが「ADSL G.lite to USB Modem」として認識されたことを確認します。

2 選択 「ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある人向け)」を選択します。

3 クリック [次へ] をクリックします。

4

1 選択 「検索場所の指定」を選択します。

2 入力 ご利用の環境に応じてパス名を入力します。
 PPPoE の場合：
 (CD-ROM ドライブが D ドライブの場合)「D:\¥PPPOE」と入力します。
 PPPoA の場合：
 (CD-ROM ドライブが D ドライブの場合)「D:\¥PPPOA」と入力します。
 アッカ・ネットワークスの場合：
 「D:\¥ACCA¥PPPOA」と入力します。

3 クリック [次へ] をクリックします。

ご利用の環境は、契約しているプロバイダによって異なります。別紙『ADSL 接続によるインターネットご利用開始までの流れ』の「ADSL 回線提供者別使用ドライバー一覧表」を参照してください。

5


1 確認 インストールされるドライバ名を確認します。

2 クリック [次へ] をクリックします。

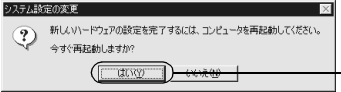
入力したパス名によって、インストールされるドライバが下記のように異なります。

¥PPPOE の場合： BUFFALO IGM-U1500C ADSL Modem(PPPoE)

¥PPPOA または ¥ACCA¥PPPOA の場合：
 BUFFALO IGM-U1500C ADSL Modem(PPPoA)

- 6  **1 クリック** 「新しいハードウェアのインストールが完了しました」と表示されたら、[完了]をクリックします。

- 7 「IGM-U1500C ドライバ CD」を、CD-ROM ドライブから取り出します。

- 8  **1 クリック** 「今すぐ再起動しますか？」と表示されたら、[はい]をクリックします。

メモ [はい]をクリックした後、Windows が終了するまでに時間がかかることがあります。5分以上経ってもパソコンが再起動しない場合は、パソコンのリセットをして再起動してください。


これで、モデムのドライバのインストールは完了です。

続いて、「**Step 4** モデムが正常に動作しているか確認する」(P26)へ進みます。

メモ 「新しいモデムのインストール」画面が表示されたときは、[キャンセル]をクリックして画面を閉じてください。

《Windows98SE の場合》

- 1 モデムが認識され、[新しいハードウェアの追加ウィザード]の画面が表示されません。




1 確認 「ADSL G.lite to USB Modem」と表示されたことを確認します。

2 クリック [次へ]をクリックします。

注意 画面が表示されないときは、「第4章 困ったときは」の「モデムのインストール画面が表示されない」(P48)を参照してください。

次ページへ続く

2




1 選択 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]を選択します。

2 クリック [次へ]をクリックします。

3 「IGM-U1500C ドライバ CD」を CD-ROM ドライブに挿入します。

4




1 選択 「検索場所の指定」を選択します。

2 入力 ご利用の環境に応じてパス名を入力します。
 PPPoE の場合：
 (CD-ROM ドライブが D ドライブの場合)「D:¥PPPOE」と入力します。
 PPPoA の場合：
 (CD-ROM ドライブが D ドライブの場合)「D:¥PPPOA」と入力します。
 アッカ・ネットワークスの場合：
 「D:¥ACCA¥PPPOA」と入力します。

3 クリック [次へ]をクリックします。

ご利用の環境は、契約しているプロバイダによって異なります。別紙『ADSL 接続によるインターネットご利用開始までの流れ』の「ADSL 回線提供者別使用ドライバー一覧表」を参照してください。

5



1 確認 インストールされるドライバ名を確認します。

2 クリック [次へ]をクリックします。

選択したパス名によって、インストールされるドライバが下記のように異なります。

¥PPPOE の場合： BUFFALO IGM-U1500C ADSL Modem(PPPoE)

¥PPPOA または ¥ACCA¥PPPOA の場合：
 BUFFALO IGM-U1500C ADSL Modem(PPPoA)

注意 「Windows98 CD-ROM」ラベルの付いたディスクを挿入して[OK]をクリックしてください。」と表示されたときは、次の手順をおこなってから、手順6に進んでください。

- 1 Windows98 の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。



1 クリック

[OK] をクリックします。

- 2



1 入力

「ファイルのコピー元」に (CD-ROM ドライブが D ドライブの場合)「D:\WIN98」と入力します。

2 クリック

[OK] をクリックします。

6



1 クリック

[完了] をクリックします。

7

「今すぐ再起動しますか？」と表示されたら、[はい]をクリックします。パソコンが再起動されます。

メモ [はい] をクリックした後、Windows が終了するまでに時間がかかることがあります。5分以上経ってもパソコンが再起動しない場合は、パソコンのリセットをして再起動してください。

これで、モデムのドライバのインストールは完了です。

続いて、次のステップへ進み、モデムが正常に動作していることを確認します。


メモ 「新しいモデムのインストール」画面が表示されたときは、[キャンセル]をクリックして画面を閉じてください。

Step 4 モデムが正常に動作しているか確認する

モデムのドライバのインストールが完了したら、次の手順に従って、モデムが正常に動作していることを確認します。

- 1 デスクトップ画面の [マイコンピュータ] アイコンにマウスのカーソルを合わせ、右ボタンをクリックします。
[プロパティ] をクリックします。
- 2 [デバイスマネージャ] タブをクリックします。

3



1 確認 [ネットワークアダプタ] の下に「BUFFALO IGM-U1500C ADSL Modem(xxxxx)」が表示されていて、×や!がついていないことを確認します。

△注意 ドライバが表示されないときや、×や!がついているとき「BUFFALO IGM-U1500C ADSL Modem(xxxxx)」が表示されないときや、×や!がついているときは、モデムが正常に動作していません。「第4章 困ったときは」の「モデムのドライバを削除したい」(P49)を参照してドライバを削除した後、再度インストールをおこなってください。

- 4 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択します。
- 5 [ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。

- 6 [ネットワーク] ダイアログボックスの [現在のネットワークコンポーネント] 欄に、モデムのドライバおよび「NDISWAN」が表示されていることを確認します。



1 確認 モデムのドライバと NDISWAN が表示されていることを確認します。

「現在のネットワークコンポーネント」欄には次のように表示されますが、正常です。
「TCP/IP-> “ BUFFALO IGM-U1500C ADSL Modem (xxxxx) ”」

- 7 確認できたら、[OK] をクリックして画面を閉じます。

- 8 タスクバーに登録された「BUFFALO Diag」をダブルクリックしてモニタ画面を表示します。

- 9  1 確認 「モデム状態」が「通信可能」になっていることを確認します。

△注意 パソコンの起動後、30 秒以上経過しても「通信可能」と表示されないときは、モジュラケーブルの接続が正しいか確認してから、契約しているプロバイダまたは弊社インフォメーションセンターへお問い合わせください。

2.2 インターネットに接続します


Step 5 インターネットに接続する

下記の手順でインターネットに接続します。

1 デスクトップ上の「IGM-Connect」アイコンをダブルクリックします。



2




1入力 プロバイダから指示された「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。(契約後、プロバイダから送られてくる資料を参照してください)

2クリック [接続] をクリックします。


- 注意**
- 「ユーザー名」「パスワード」を入力するとき、大文字・小文字に注意してください。
 - プロバイダによっては、「ユーザー名」に「プロバイダから指定されたユーザー名@プロバイダの識別名」を入力する必要があります。

3



1クリック 「接続が完了しました」と表示されたら、[閉じる] をクリックします。

メモ



1クリック 回線を切断したいときは、[切断] をクリックします。

4 タスクバーに登録された「BUFFALO Diag」をダブルクリックして、モニタ画面を表示します。

5



1 確認

モニタ画面の表示が、下記の状態になっていることを確認します。

モデム状態 : 通信可能
 ネットワーク状態 : 認識中

インターネットに接続されました。

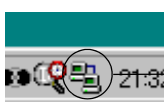
Step 6 最大データ転送速度を確認する

実際にインターネットにつなげて、正常に ADSL 回線が使用できているか確認をおこないます。

接続速度の確認

実際に接続されている回線速度を調べます。

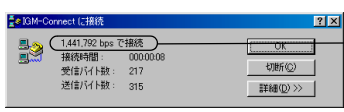
1



1 クリック

タスクバー内の「ダイヤルアップアイコン」にマウスのカーソルを合わせ、ダブルクリックします。

2



1 確認

表示された画面内のデータ転送速度を確認します。通常、655,360bps 以上の速度が表示されます。(1.5Mbps サービスの場合)

注意 データ転送速度とは、実際にデータを転送する際の限界速度のことです。

接続速度が確認できたら、モデムの設置は終了です。

※ 通信速度については、お客様が契約されている通信業者にお問い合わせください。なお、データ転送速度は環境によって変化する場合がありますので、何度か接続して確認されることをお勧めします。

2 WindowsMe/98SE 編

MEMO